

平成21年度当初予算

主 要 事 業

福 井 県 教 育 委 員 会

I 経済対策・雇用対策

1 雇用対策

◇雇用対策の体制整備	予 算 額 (単位：千円)
⑧ 高校生の就職緊急支援事業（教育庁高校教育課） 教員による求人確保対策の強化やインターンシップを実施し、高校生の就職内定率の向上と離職率の低下を図ります。	4,690

2 県内経済の活性化

◇観光の振興

⑧ 恐竜博物館の開館10周年展示更新（教育庁文化課） 平成22年度に開館10周年を迎える恐竜博物館において、展示の更新を行い、一層の魅力アップを図ります。 事業内容 発掘した恐竜化石の復元、展示 恐竜映画館の整備 恐竜化石発掘体験広場の整備 など	2月86,116
⑧ 恐竜溪谷（ダイノソーバレー）構想推進事業 （部局連携：教育庁文化課、総合政策部政策推進課、産業労働部観光振興課、土木部道路建設課） 恐竜博物館や化石発掘現場を中心とした九頭竜川上・中流域一帯を恐竜溪谷（ダイノソーバレー）として、「恐竜」をモチーフとした地域の魅力づくりを進めます。 事業内容 ⑧常設展示の追加（ダイノストリート天井への映像投影、恐竜ロボット等） ⑧年間観覧券の発行 えちぜん鉄道勝山駅前広場の拡張整備 アクセス道路の交差点改良 ⑧名古屋から恐竜博物館への恐竜ラッピングバスの運行（夏休み期間中）	（※うち教育庁所管分 22,632） 197,410

3 県民生活の安心確保

◇安全・安心

施設等の耐震化促進事業

福井県建築物耐震改修促進計画に基づき、学校や福祉施設、民間木造住宅等の耐震化を促進します。

- ① ④ 県立学校の耐震化 (教育庁学校教育振興課) 1,181,340
 耐震補強計画・実施設計策定(9棟)
 耐震補強工事(9棟)
- ② ④ 公立小・中学校の耐震化 (教育庁学校教育振興課) 100,458
 耐震補強工事(25棟)
 補助率 Is値0.3未満(倒壊の危険性の高い施設) 県1/20 (国2/3)
 Is値0.3以上(倒壊の危険性のある施設)
 財政力指数0.5未満の市町 県1/10 (国1/2)
 財政力指数1.0未満の市町 県1/15 (国1/2)

④ 県立施設の修繕工事の前倒し (※うち教育庁所管分 21,771)
 (総務部大学・私学振興課、健康福祉部障害福祉課、教育庁スポーツ保健課) 2月238,560
 障害者施設「若越ひかりの村」や運動公園陸上競技場等の改修を、前倒して実施します。

◇子育て支援

- ④ 放課後子どもクラブ応援事業 (教育庁義務教育課) 25,938
 学校の空き教室等を利用して放課後子どもクラブの運営規模を拡大する市町に対して、助成制度を拡充し、すべての子どもが安心して放課後を過ごすことのできる環境を整備します。
 事業内容 改修、備品整備等への補助率の嵩上げ
 (通常の補助率 国1/3 県1/3 (市町1/3))
 小学校4年以上、留守家庭以外の児童を受け入れる場合
 空き教室利用の場合
 補助率 国1/3 県2/3 (市町負担なし)
 その他の場合
 補助率 国1/3 県1/2 (市町1/6)

(※うち教育庁所管分 45,022)
 ④ 遊具・展示施設の更新の前倒し 2月213,814
 (健康福祉部地域福祉課、子ども家庭課、教育庁学校教育振興課)
 福井県児童科学館やふくい健康の森の屋外遊具の更新等を前倒して行い、子どもが安全に利用できるようにします。

II 新たな計画(観光・農業・環境)の実行

1 新ビジットふくいの推進

	予 算 額 (単位：千円)
◇恐竜ふくい誘客プロジェクト	
㊦ 恐竜渓谷（ダイノソーバレー）構想推進事業 （部局連携：教育庁文化課、総合政策部政策推進課、産業労働部観光振興課、土木部道路建設課） 再掲（P1）	(※うち教育庁所管分 22,632) 197,410
恐竜ブランド発信事業（教育庁文化課） タイや中国の博物館と共同で恐竜化石の発掘調査、研究を継続し、国内随一の恐竜博物館としての成果を蓄積、発表していきます。また、首都圏におけるPR活動を強化するとともにナイトミュージアムの開催など、全国や世界に向けて恐竜王国福井の認知度を高めます。	32,480
㊦ 恐竜博物館の開館10周年展示更新（教育庁文化課） 再掲（P1）	2月86,116
㊦ ミュージアム・アップバリュー制度（総合政策部政策推進課、教育庁文化課） 貴重な絵画、恐竜の化石など美術館や博物館の収蔵品について機動的な先行投資を行い、魅力の向上に併せて入館料を引き上げるにより、回収する本県独自の仕組みの構築を図ります。21年度は恐竜博物館開館10周年に向けて、目玉となる恐竜の化石購入を検討します。	—

2 新たな農業・農村再生計画の推進

◇消費者と支えあう農業プロジェクト

㊦ 学校給食における米粉入りパン推進事業（教育庁スポーツ保健課） 本県の米の消費拡大と地産地消を進めるため、給食に米粉パンの導入を行う学校に対し、通常のパンとの差額を助成します。 負担割合 県1/3、市町1/3、JA1/3	2,730
㊦ 元氣いきいき福井をつくる食育推進事業 （部局連携：農林水産部販売開拓課、教育庁スポーツ保健課、健康福祉部健康増進課、安全環境部廃棄物対策課）	(※うち教育庁所管分 0) 17,791
家庭、地域、学校が共動して食育の県民運動を推進します。 事業内容 第3回「全国高校生食育王選手権大会」の開催 ㊦協賛企業を「食育・地産地消応援団」に認定し、共動活動を展開	

3 守り育てる福井の環境

◇環境を思い行動する子どもを育てる

- ⑧ 地域と共働した子ども自然体験推進事業 (※うち教育庁所管分 0) 7,578
 (部局連携：安全環境部環境政策課、自然保護課、教育庁義務教育課)
 小・中学校の児童、生徒が田植え、稲刈りなどの農業体験、山登りを通じた自然観察、漁業体験や里海での船乗り体験など、ふるさとの山、里、海の自然の姿や大切さを体感することによって、ふるさとの環境を守る心を育てます。
 事業内容 遠足の機会に里海での船乗り体験実施
 自然観察指導員の協力による自然観察等
- ⑧ 「生き物百葉箱」推進事業 (※うち教育庁所管分 0) 2,799
 (部局連携：安全環境部自然保護課、環境政策課、教育庁義務教育課)
 県内の小学生が身近な生き物を観察することによって、身の周りの自然環境を大きな百葉箱として、季節の変化や自然の豊かさを感じ、自然を大切にすることを育む環境教育を行います。
- ⑧ 「三方五湖」活用自然体験型環境学習実践事業 (教育庁生涯学習課) 1,255
 「三方五湖」周辺の特長ある自然環境を活かして、子どもを対象とした独自の環境学習プログラムを開発、実践していきます。
- ⑧ 福井いつでもエコ育実践事業 —
 (部局連携：安全環境部環境政策課、自然保護課、教育庁義務教育課)
 自然環境や生活環境について、身近な福井の動植物などを題材にわかりやすく解説した教材(20年度作成)を活用し、小・中学生の各年代に応じた環境教育を本格的に推進します。

Ⅲ 福井新元気宣言のステップアップ

1 元気な社会

未来を託す教育・親しみ楽しむ県民文化

◇教育力の向上と文化の創造

予 算 額
(単位：千円)

「教育・文化ふくい創造会議」事業 (教育庁教育政策課) 2,352

有識者で構成する「教育・文化ふくい創造会議」を19年度から開催し、総合的な学力の向上や学校マネジメント改革に対する提言の具体化を実行してきました。21年度は、文化の振興方策について検討し、新たなふくい文化の創造に向けた施策の立案を加速させます。

元気福井っ子新笑顔プラン事業 (教育庁学校教育振興課、義務教育課) 3,525,605

小・中学校における県独自の少人数学級編制基準等を定めた「新笑顔プラン」を、20年度に引き続き実行します。

<23年度までの新笑顔プランの目標>

	学年	学級編制基準				学年	学級編制基準		
		19年度	21年度	23年度			19年度	21年度	23年度
小学校	1・2年	40人	40人	40人	中学校	1年	30人	30人	30人
	3・4年	40人	40人	40人		2・3年	36人	34人	32人
	5年	40人	36人	36人					
	6年	36人	36人	36人					

配置教員数(21年度) 教員457人、非常勤講師164人

⑧ 新教育課程に向けた指導体制構築事業 (教育庁学校教育振興課、義務教育課) 43,313

23年度から開始する新学習指導要領を先行実施することに伴い、理科や算数など小学校での授業時間数の増加に対して、非常勤講師を増員し、児童が確実に学習内容を習熟できる体制を構築します。

⑨ 小・中学校統廃合に伴う学校生活支援事業 (教育庁学校教育振興課、義務教育課) 28,000

21年度に統廃合がある小・中学校4校において、教員1名を1年間増員し、児童・生徒の新しい学校における学習・生活等を支援します。

増員対象校 朝日中(越前町)、青郷小・内浦小・高浜中(高浜町)

⑩ 高校生学力向上事業 (教育庁高校教育課) 18,060

教員による県外進学校の指導方法等の研究により、指導力の向上を図るとともに、各高校の独自の企画による学習合宿や進学対策講座の実施により、高校生の学力向上を図ります。

⑪ ふくいサイエンス顕彰事業 (教育庁高校教育課) 369

理科・数学の研究、コンテスト等で顕著な功績を挙げた県内の中学・高校生を表彰する賞を新たに創設し、受賞者には先進的な研究施設を見学してもらい、サイエンスへの興味や探究心の更なる向上を図ります。

スーパーサイエンスフォーラム開催事業（教育庁高校教育課）	2,242
高校生を対象に、世界の最先端科学技術に触れ学ぶ機会を設けることにより、科学技術、理科・数学に対する興味・関心を高め、知的探求心を育てます。	
事業内容 著名な研究者による講演と実験の実施	
開催日 21年8月	

◇いつでも身近に福井の文化

福井子ども歴史文化館整備事業（教育庁生涯学習課）	384,448
子どもたちが、福井の先人・達人や白川文字学を中心とした郷土の歴史文化を学び楽しむ拠点として「福井子ども歴史文化館」を整備します。	
開館時期 平成21年11月下旬	
総事業費 約6億円	

⑧ 青少年体験学習のあり方調査事業（教育庁生涯学習課）	529
県内の自然や環境などを活用した新しい体験学習の方向性やあり方について、調査・検討を行います。	

⑧ ミュージアム・アップバリュー制度の創設	—
（総合政策部政策推進課、教育庁文化課） 再掲（P3）	

◇「みんながプレーヤー」と「世界を夢見るアスリート」の応援

⑧ 国体開催準備検討事業（教育庁スポーツ保健課）	1,968
平成30年の第73回国民体育大会の誘致・開催に向け、県民一人ひとりの健康の増進やスポーツの振興につながる「新しい形での国体」について、具体的に検討します。	

女性活躍社会

◇日本一の子育て応援システム

⑧ 放課後子どもクラブ応援事業（教育庁義務教育課） 再掲（P2）	25,938
----------------------------------	--------

日本一の安全・安心 （治安回復から治安向上へ）

◇「福井治安向上プラン」の実行

（※うち教育庁所管分 0）

⑧ 子ども安心県民作戦（部局連携：安全環境部県民安全課、教育庁スポーツ保健課、警察本部）	17,817
市町、地域住民および事業所と連携、協力し、登下校の見守り活動など、子どもの安全安心を守ります。	
事業内容 ⑧小学生に対する地域ぐるみの見守り活動	
事業所やPTAの参加促進	
⑧中学生に対する安全確保の活動の支援	
安全マップ作成、防犯講習会開催、登下校時の巡回パトロール	
補助率 県1/2（市町1/2）	

2 元気な県政

夢と誇りのふるさとづくり

◇ 「理想県」福井を全国に

- ⑧ ふくい“五育”の展開 (部局連携：総合政策部政策推進課、教育庁教育政策課) —
 日本一の学力・体力を生み出した本県教育の伝統と5つの育(知育・徳育・体育・才育・食育)を全国に広めます。
 (※うち教育庁所管分 22,632)
- ⑨ 恐竜溪谷(ダイノソーバレー)構想推進事業 197,410
 (部局連携：教育庁文化課、総合政策部政策推進課、産業労働部観光振興課、土木部道路建設課) 再掲(P1)
- 恐竜ブランド発信事業 (教育庁文化課) 再掲(P3) 32,480
- ⑩ ミュージアム・アップバリュー制度の創設 —
 (総合政策部政策推進課、教育庁文化課) 再掲(P3)

◇ 「ふくい帰住」政策

- ⑧ ふるさと帰住促進事業 (※うち教育庁所管分 0)
 (部局連携：産業労働部労働政策課、農林水産部農林水産振興課、農業技術経営課、土木部建築住宅課、教育庁高校教育課) 243,064
- 21年度を「ふるさと帰住元年」と位置付け、21年度から23年度までの3年間で3,000人を目標に、ふくいへの帰住を促進します。
- 事業内容 「ふるさと帰住センター」を設置し誘致体制を強化
- ⑨ 東京、大阪に加えて、名古屋、金沢に拠点を設置
 - 就職先開拓、住居提供など受入体制の強化
 - ⑩ 就職求人開拓員を設置しU・Iターン希望者のニーズに対応
 (ふるさと雇用再生特別基金を活用)
 - ⑩ 「優良空き家活用システム」の創設によるゆとり住宅の提供
 (ふるさと雇用再生特別基金を活用)
 - ⑩ 県立学校に「ふるさと帰住子女枠」を新設
 - 学生・社会人のUターン就職の促進
 - ⑩ 無料のUターンバスを運行(別掲)
 - ⑩ 社会人Uターン就職面接会の開催(東京、⑩大阪、⑩名古屋)
 - ⑩ 福井版就職ナビゲーションによる就職先情報の提供
 - 福井での暮らしの体験・交流の推進
 - ⑩ 「新ふくい人」田舎暮らし体験交流事業(再掲)
 - ふるさと福井で就農
 - ⑩ 新規就農者確保対策事業(再掲)